

**9.JUNE** >>> Diary of Travel manager

大会がスタートしたということもあり広報部長バロマもこれまで以上にハードなスケジュールをこなしている。練習の間にできたわずかな時間に彼女の話し合いの場を持つとするのだが、電話やトランシーバーが絶え間なく鳴る……。

まだカメーン合宿場に入ったばかりということもあり、警備部長との入念な打ち合わせで選手に支障が出ないようにするというのも私の仕事だ。予想しないときに起こるアクシデントをより少なくするというのも、トラベルマネージャーの大きな使命なのだ。

9.JUN > Day of Football



スター選手の多いチームが出た打ち合わせは綿密に行う。

**14.JUNE** >>> Diary of Travel manager

誰も予想していなかった大勝であった。ウクライナに勝利できると確信していたが、この結果には驚かされた。ヴィジャが試合前に必ず得点すると言っていたけれど、約束を果たすとは思ってみなかった。

14.JUN > Day of Football

**15.JUNE** >>> Diary of Travel manager

昨日は大勝したが、アラゴネス監督は反省点と次戦のミーティングを行った。選手が地から足を離さないように落ち着かせた。それにしても昨日の試合は若手が力を発揮するのは絶好のチャンスだった。

15.JUN > Day of Football

**13.JUNE** >>> Diary of Travel manager

明日からスペイン代表チームの戦いが始まる。初戦の相手、ウクライナはこれまでに対戦したことがあるが、なかなか手強い相手だ。ドクターのボラスは怪我を引きずる



今大会でプレイした選手の一人、ヴィジャ。

選手の様子を診ながら「ラウールは皆が思っている以上にコンディションは悪くはない」と言う。ただ試合のリズムが戻っていないだけで、いずれは調子が戻るだろうと言っていた。ドクターのボラスも代表での経験は長く、非常に信頼のできる人物だ。

今回のスペイン代表を優勝候補に挙げた人は前大会ほど多くはないので、チームにとってはプレッシャーも良くない傾向だ。それだけに若い選手に期待がかかる。

13.JUN > Day of Football



チームの勝利の秘訣を探る会議の様子。



ピンチガイドでもスタッフと連絡を取り合っている。

**19.JUNE** >>> Diary of Travel manager

すごく良いムードでスタジアムに入った選手たちだったが、ゲームではチュニジアを相手に非常に苦しんだ。ウクライナ戦が派手な内容だっただけに次戦に向けて課題が残った。一戦目で活躍したヴィジャは試合後とても寂しそうなお表情を見せていた。しかし決勝トーナメント出場を決め、チーム全体は良いムードが継続している。

19.JUN > Day of Football

**20.JUNE** >>> Diary of Travel manager

スペインの新聞では、決勝トーナメントの相手チームについて大きく分析、紹介されていた。

私は決勝トーナメント1回戦の相手にはフランスだけは避けられればと思っていた。フランスが1位通過でなければ、そう強いチームではないはずだとも考えていたのは確かだ。ただ、スペインは次の戦いで勝つことが先決で、まだ相手を選ぶことはできないのである。

20.JUN > Day of Football

Spanish squad  
in Germany 2006

**24.JUNE** >>> Diary of Travel manager

昨日のサウジアラビア戦はこれまで試合に出ていなかった選手が主に起用された。これはすでに決勝トーナメントに出場が決まっているからであった。代表選手として長年プレーしてきたカニサーレスは代表引退をすでに表明している。

それまでの代表チームへの貢献に感謝を込めて、アラゴネス監督は彼を起用すると試合前から言っていた。

アラゴネス監督はカニサーレスが前大会直前で負った怪我がなければ、レギュラーとしてワールドカップに出場するチャンスがあったかと思っているようだ。マスコミからは第2ゴールキーパーのレイナをどうして起用しないのかという声もあったが、頑固親父のような風貌であるアラゴネス監督は、スペインの中でも新しい戦術を積極的に試すなど、非常に柔軟な考えを持った人物なので彼を起用したんだと思う。

試合後、カニサーレスと話す機会があったが、彼は目に涙を溜めて喜んでいた。カニ

**22.JUNE** >>> Diary of Travel manager

サウジアラビア戦の前にホテル入りする選手団をチェックする仕事は簡単そうだが、準備がしつかり出来てないと予想外のハプニングが起きてしまう。こういう時は、セキュリティ部長との連携が非常に重要になってくる。

本大会はこれまで以上に、非常に厳しい警戒態勢で臨んでいることもあり、思った以上に時間を要するというのが特徴的だ。

話は変わるが、コック長の話によるとMFのアルベルダは非常に食べ物に対して厳しいようだ。大柄の選手は大食いというイメージとは裏腹に小食だと言っていた。

ちなみに食材はスペインから持ってきたモノと現地で作られるモノがある。この入手

22.JUN > Day of Football

スタッフたちの努力があるからこそ、選手たちも、ムードが披露できる。



いつもと同じ心掛ける心掛けるシェフの手料理。

サーレス本人が前大会の件で苦しんでいたのをアラゴネス監督はよく知っていたのだろう。アラゴネス監督は選手に対してそういった心配りをよくしている。例えば、チュニジア戦で調子を出し切れなかったヴィジャのリズムを取り戻させるために、サウジアラビア戦でも起用するなど、選手のコンディションからメンタルまでしっかりケアしている。

24.JUN > Day of Football

**29.JUNE** >>> Diary of Travel manager

ついにドイツの旅が最終日を迎えた。27日の対フランス戦はゲームを支配していただけに負けることは思っていなかった。皮肉にも、なぜフランスがグループで2位になったのか考えることもあるが、これもサッカーだ。

実は私も、トラベルマネージャーとして、この試合が終了する前からスペインへ戻る翌日のチャーター便の交渉をしていたのだった。これまでにFIFAがドイツ国内の手配をしてくれていたが、負けが決まるとその後は各国

29.JUN > Day of Football